

# 公共事業事後評価調書

| 1 事業概要   |  | 整理番号          | H27 - 2                         |             |
|--|--|---------------|---------------------------------|-------------|
| 事業種別   | 水産基盤整備事業   | 事業主体          | 青森県                             |             |
| 事業名  | 広域漁場整備事業   | 管理主体          | 三厩沖人工礁漁場管理運営協議会                 |             |
| 箇所名等<br>(市町村名)   | 三 厩<br>(外ヶ浜町)  | 事業方法          | ● 国庫補助 ○ 交付金 ○ 県単独              |             |
|  |  | 財源・負担区分       | ● 国 50% ● 県 50% ○ 市町村 % ○ その他 % |             |
| 事業の背景・必要性  | 本地区では、スルメイカ等の広域性回遊資源に依存する不安定な漁業形態など、漁業経営は極めて厳しい状況にある。このため、魚礁の設置により、ウスメバル、ソイ、ヒラメ、カレイ類等の蛸集・滞留を図り、一本釣、はえ縄漁業等の漁獲量の安定・増大、漁獲効率の向上を図ったものである。  |               |                                 |             |
| 主な事業内容<br>(事業量)  | 魚礁の設置: 62,975.1空m <sup>3</sup> ①三厩(大型)魚礁漁場: 32,747.55空m <sup>3</sup> (コンクリート魚礁1箇所、鋼製魚礁3箇所) ②竜飛(大型)魚礁漁場: 30,227.55空m <sup>3</sup> (鋼製魚礁3箇所)   |               |                                 |             |
| 想定した事業効果   | <p>《金銭価値化が可能な効果》</p> <p>①施設整備による生産量の増加効果<br/>魚礁漁場に集まる魚介類の増加を利益として計上</p> <p>②出荷過程における流通業に対する生産量の増加効果<br/>産地から消費地市場までの流通段階において、漁獲物を取り扱う仲買人や運送業者等に生じる利益を計上</p> <p>《その他の効果》</p> <p>—</p> |               |                                 |             |
| 事業の実施経過  | 《事業着手》平成13年度 《用地着手》  |               | 《工事着手》平成13年度 《事業完了》平成22年度       |             |
| 公共事業評価の実施時期  | 事前評価時(H13年)<br>〔当初計画時〕   | 再評価時(H17年)    | 事後評価時(H27年)<br>〔最終実績〕           |             |
| 事業期間(事業着手～事業完了)  | 13 ～ 22  | 13 ～ 22       | 13 ～ 22                         |             |
| 総事業費   | 1,760 百万円  | 1,141 百万円     | 1,097 百万円                       |             |
| 計画変更の実施時期  | 第1回計画変更(H14年)  | 第2回計画変更(H18年) | 第 回計画変更( 年)                     | 第 回計画変更( 年) |
| 事業期間(事業着手～事業完了)  | 13 ～ 22  | 13 ～ 22       | ～                               | ～           |
| 総事業費   | 1,178 百万円  | 1,083 百万円     | 百万円                             | 百万円         |
| 特記事項   | <ul style="list-style-type: none"> <li>・平成17年度に再評価を実施。附帯意見無し。対応方針は継続。</li> <li>・計画変更の理由: ①第1回: 魚礁の種類の変更による事業量・事業費の変更 ②第2回変更: 魚礁の集約的な配置による事業量の変更</li> </ul>                           |               |                                 |             |
| 《事業概要図》  |  |               |                                 |             |
|  |  |               |                                 |             |
| <p>凡例</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● コンクリート魚礁</li> <li>■ 鋼製魚礁</li> </ul> |  |               |                                 |             |
| 担当部課室名   | 農林水産部 水産局 漁港漁場整備課  | 電話番号          | 017 - 734 - 9615                |             |
|  |  | E-MAIL        | gyoko @pref.aomori.lg.jp        |             |

2 事業完了後の状況

整理番号 H27 - 2

社会経済情勢等の変化 (1)本県沿岸域の水産資源の減少や漁価の低迷、漁業用資材・燃油の高止まり傾向にある中で、漁獲量の安定・増大や漁獲効率の向上のための漁場整備の要望が益々高まっている。  
(2)平成27年度末に予定される北海道新幹線(新青森・新函館北斗間)の開業で、本州最北端駅となる「奥津軽いまべつ駅」からの観光客の増加に伴い、水産物のブランド化や販売促進などの経済効果が期待されている。

費用対効果分析の算定基礎となった要因の変化 (1)魚礁における魚介類の生産量が平成13年度の事前評価時に比べ約2割減少した。  
(2)対象魚種の単価が平成13年度の事前評価時に比べ平均26%減少した。  
(3)国が定めた平成27年度の費用対効果ガイドライン及び魚礁漁場管理の活動実態を踏まえ、漁業経費を見直した。

《金銭価値化が可能な効果》

- ・施設整備による生産量の増加効果(年間便益額87,879千円)
- ・出荷過程における流通業に対する生産量の増加効果(年間便益額6,560千円)

魚礁漁場の整備後は、多くの魚が集まっていることが水中カメラや釣獲調査で確認されており、漁獲効率の高い操業が可能となっている。

【魚礁漁場での操業状況】に関するアンケート結果では、「殆ど(頻繁に)操業している」と回答した人の割合(23.5%)と、「時々操業している」と回答した人の割合(34.7%)を合すると58.2%となっている。

【必要度】に関するアンケート結果では、「必要であった」及び「概ね必要であった」と回答した人の割合は79.5%となっている。

【達成度(蛸集)】に関するアンケート結果では、魚礁漁場付近への魚の蛸集について、「達成(おおむね達成)された」と回答した人の割合は67.5%となっている。  
漁業者からは、魚礁のそばでなければ魚の群れを見つけれない、昔から皆無の漁場でも魚礁設置により漁ができるようになったとの意見があった。

【達成度(魚種)】に関するアンケート結果では、メバル類が31.6%と最も多く、次いでソイ類(25.9%)、ヒラメ(17.2%)、アイナメ(13.8%)となっており、基本計画で増産を見込んだこれら4魚種で88.5%を占めていた。

《その他の効果》  
魚介類の産卵効果、幼稚仔の保護・育成効果による水産資源の増大効果

《参考(費用便益比)》

|            | 事前評価時(H13年) | 再評価時(H17年) | 事後評価時(H27年) |
|------------|-------------|------------|-------------|
| 総費用(C)     | 1,483 百万円   | 1,052 百万円  | 1,752 百万円   |
| 総便益(B)     | 1,818 百万円   | 1,320 百万円  | 2,328 百万円   |
| 費用便益比(B/C) | 1.23        | 1.25       | 1.32        |

《特記事項》  
—

問8-1【魚礁漁場での操業状況(操業頻度)】  
有効回答98

問9【必要度】有効回答78

問10(1)-1【達成度(蛸集)】  
有効回答77

問10(1)-2【達成度(魚種)】  
有効回答174 (複数回答)

|                          |   |                        |
|--------------------------|---|------------------------|
| <p>事業により整備された施設の管理状況</p> | <p>本事業で整備した魚礁漁場では、三厩沖人工礁漁場管理運営協議会(三厩漁協、竜飛今別漁協、外ヶ浜町、今別町により構成)による釣獲調査を行っているほか、ウスメバルやヒラメなどの資源管理が徹底されている。</p> <p>【管理状況】に関するアンケート結果(右記)では、「適切(概ね適切)」と回答した人の割合が54.6%となっている。</p>   | <p>問11【管理状況】有効回答77</p> |
| <p>事業実施による環境の変化</p>      | <p>《「環境影響への配慮」の効果発現状況(特に留意した配慮内容がある場合)》</p> <p>魚礁の設置により、多くの魚が集まっていることが水中カメラや釣獲調査で確認されており、魚介類の良好な生息環境が創出されている。</p> <p>《その他の環境の変化》</p> <p>【環境変化】に関するアンケート結果では、事業の実施により、魚礁漁場周辺の魚介類などの生息環境の状況は、事業実施前と比べて「良く(やや良く)なった」と回答した人の割合が77.9%となっている。</p> | <p>問12【環境変化】有効回答77</p> |

3 まとめ

|                    |   |
|--------------------|---|
| <p>改善措置の必要性</p>    | <p>本事業で整備した魚礁漁場では、蜻蛉状況を調査し事業効果の発現を確認できるが、【改善点】に関するアンケート結果では、「改善点がある」と回答した人の割合が40.3%となっており、このうち、「改善点の内容」としては、「魚礁の設置場所」と回答した人が56.8%と最も多く、次いで「魚礁の種類・大きさなど」と回答した人が29.7%、「魚礁の配置」と回答した人が13.5%であり、一部の漁業者が設置場所等に満足していないことがわかった。</p> <p>当魚礁漁場は、漁業協同組合の意向をはじめ、水産生物の生態や海域特性、漁業形態等を総合的に勘案し、整備内容を地元組合員等に説明し理解を得た上で整備したが、「改善点がある」との意見が40.3%あったことから、今後は、事業実施前の整備内容などの説明については、漁業者へのより深い周知と理解を得る必要がある。</p>         |
| <p>再度の事後評価の必要性</p> | <p>本事業については、「事業効果の発現状況」にあるとおり、全体として事業目的は概ね達成されているものと判断し、再度の事後評価は必要ないものとする。</p>  |
| <p>今後に向けた留意点</p>   | <p>《同種事業の計画・調査の在り方》</p> <p>同種事業の基本計画については、県が推進する「環境公共」に基づき、漁業者、地域住民等の構成員からなる「地区環境公共推進協議会」で整備のニーズを十分に把握し、反映させた上で策定するとともに、同協議会等を通じて、事業目的や整備内容、その決定根拠の周知を図っていく必要がある。</p> <p>《事業評価手法の見直し》</p> <p>アンケート回収率が約40%と低かったことから、漁業の繁忙期を避けるなどの調査時期の設定に工夫が必要である。</p> <p>《同種事業の内容・手法等の在り方》</p> <p>アンケートでは、ヤリイカ産卵礁を含む漁場整備を求める意見が多かったことから、ヤリイカを含む多様な水産生物の成長段階に応じた産卵場、保護・育成場、漁獲漁場の複合的かつ一体的な漁場整備を計画的に進めていく必要がある。</p> |
| <p>特記事項</p>        | <p>—</p>  |